



プロバスだより

第321号

2022年8月11日発行

編集・発行：情報委員会

東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

2022～2023年度 テーマ

プロバスライフを元気に楽しむ すこしずつ動きだそう

定期総会・例会

日 時：令和 4 年 7 月 14 日 (木) 12:00～14:20

場 所：八王子エルシィ

出席者：37 名 出席率 77 %

(会員総数 51 名 休会 3 名 欠席 11 名)

総会・定例会

野口例会委員長から進行について説明があり、定期総会・定例会が開催された。

第 27 回 定期総会

1. 開 会

野口例会委員長

第 27 回定期総会の開催を宣し、資料を確認。

2. 会長挨拶

池田 会 長

今年度会長を務めます池田です。どうぞよろしくお願ひいたします。これから第 27 期の定例総会を開催します。どうぞ慎重なご審議をお願いいたします。

3. 議長選任

慣例により会長が議長を務め、池田会長が議長席につき、会員総数・出席者数を確認の上、議事の審議に入った。

4. 書記・議事録署名人の選任

書記に岩島寛会員、議事録署名人に杉田信夫会員、深谷正徳会員が選任された。

5. 議 事

議案は配布済なので、項目のみを掲載。

第 I 号議案 2021～2022 年度 事業報告

第 II 号議案 2021～2022 年度一般会計決算報告

第 III 号議案 2021～2022 年度活動準備資金特別会計報告

第 IV 号議案 2021～2022 年 第 26 回生涯学習サロン特別会計決算報告

以上の提出議案について、前年度幹事及び地域奉仕委員長からの説明があり、引き続き監査報告。採決の結果、第 I 号議案から第 IV 号議案まで、賛成多数で可決承認された。次いで、

第 V 号議案 2022～2023 年度 一般会計予算案

第 VI 号議案 2022～2023 年度 活動準備資金特別会計予算案について

寺山幹事から説明があり、採決の結果、第 V 号議案、第 VI 号議案は賛成多数で可決承認された。

第 VII 号議案 「地域奉仕委員会の運用細則の改定」案について、馬場地域奉仕委員長からの説明。

第 VIII 号議案 2022 年度「東京八王子 2022」特別会計予算案について、一瀬交流担当理事からの説明。

第 IX 号議案 2022～2023 年度追加役員人事案について、寺山幹事からの説明があり、一括審議の結果、賛成多数で可決承認された。

6. 議長解任

7. 閉 会

第 321 回 例会

1. 開 会

野口例会委員長

第 321 回例会開催を告げ、配布資料の確認。

2. 会長挨拶

池田会長

皆様のおかげで無事に総会が終わりました。ご協力に感謝致します。これから 27 期が始まります。私は不慣れですが理事のみなさんはベテラン揃いな

で、会員各位のご協力をいただきながら充実した1年を過ごせるものと思っています。

今年度の活動方針は、河合年度を踏襲して「元気でプロバスライフを楽しむ」としました。まだコロナ禍は終わりませんが、少しずつ動き出しましょう。秋には全日本プロバス協議会全国大会があります。地域奉仕事業の見直しや会員増強、委員会活動、会計収支や書式の見直しなど大事な事業も控えています。詳細はお配りしたプリントにある通りですので、お目通しください。

楽しいプロバス活動ができますように、どうぞお元気でこの1年を！



3. 来賓ご紹介・ご挨拶

東京八王子南ロータリークラブ

副会長 堀上 則夫様

副幹事 田中午一郎様

ご挨拶

堀上 則夫様

今日は、ご紹介をいただきました南ロータリークラブの堀上です。本日はお招き頂きましてありがとうございます。私は11年前、当時会長としてこの会にお邪魔しました。確か東日本大震災の年だったと思います。その時はプロバスクラブのことがよくわからず、「パワフル・ビューティークラブ」などとお呼びして、笑われたことを覚えています。



プロバスクラブもロータリーも大きな目的は同じであります。「奉仕活動を通じて自分を磨く」ことに専念し、兄弟同士共通の目的のもと、一緒にやってゆきたいと思います。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

プロバスクラブもロータリーも大きな目的は同じであります。「奉仕活動を通じて自分を磨く」ことに専念し、兄弟同士共通の目的のもと、一緒にやってゆきたいと思います。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

4. 新会員の紹介

大野 教子会員の紹介

杉山 友一

今日からお仲間に加わってくださいます大野教子さんをご紹介申し上げます。大野さんのお住まいはグリーンヒル寺田ですから、会員さんの中で

は恐らく一番西にお住まいかと思えます。現役時代のお仕事は知的障害児童施設の指導員を長年にわたり奉仕されておられます。

現在は京都に全国本部が所在する公益社団法人「認知症の人と家族の会」東京都支部の代表をお勤めであります。

ご趣味は国内旅行とのことであります。大野さんは昭和26年生まれの方ですから、ご加入によって我々プロバスクラブの平均年齢を少しばかり下げられることとなります。

今年度私は研修担当の委員会ですから、ご入会早々にご活躍を期待しているところであります。皆様どうぞよろしく願い申し上げます。

大野 教子会員のご挨拶

新しく会員となりました大野でございます。市内のグリーンヒル寺田に移り住んで35年になります。5年前に103歳で他界した認知症の義母を在宅介護・遠距離介護をしていた経験から、22年前に「認知症の人と家族の会(旧呆け老人をかかえる家族の会)」東京都支部のボランティアスタッフとなり活動を続けてまいりました。12年前からは支部代表をつとめております。介護中はさまざまな「負の思い」もありましたが、義母の認知症の介護に関わったおかげで、たくさんの方と出会い、たくさんの気づきを得ることができました。



この度また、豊かな人生を送られてこられた先輩のみなさまに出会い、新たな気づきや学びをいただき、外側のぜい肉だけでなく(私は太っています)、中身も肥やしていきたいと思っています。いろいろ教えていただくことばかりかと存じますが、どうぞよろしく願いいたします。

5. ハッピーコイン披露

持田副会長からハッピーコイン18件の披露があった。(5～6ページに掲載)

6. パースデーカード贈呈

7月生まれの会員に池田会員手作りのパースデーカードが贈られた。



写真左から高取、岩島、(会長)、濱野、浅川の各会員(敬称略)

7. 幹事報告

幹事の寺山です。一年間よろしく申し上げます。

新年度第一回の例会に合わせて、会員名簿、年間スケジュール表、新しい名札などを準備しました。ご確認ください。

期首の会員動向ですが、本日本野教子様が入会されました。6月30日付で堀武彦会員が退会されました。7月から大野幸二会員が休会となりました。従って期首の体制は会員数51名、休会3名となります。

今年度の活動方針としては、会長方針を受けて

- ・例会を楽しく、充実させる。
- ・委員会活動の充実と委員会の相互応援
- ・全日本プロバス協議会第10回総会への協力と全日協の発展に尽力する。
- ・新規の会員増に全員で協力し、新会員を温かく迎える。
- ・予算の適正な執行、財政の健全化を図る。
- ・定例会終了後に「お話タイム」として委員会や同好会の会議場を確保する。

8. 各委員会・新年度活動方針

(1) 例会委員会

野口委員長

例会委員長の野口です。よろしく申し上げます。例会の開催に当たっては十分な準備の下にスムーズな進行を心掛けたいと思います。特に、池田会長の活動方針にあるように「プロバスマイフを元気に楽

しむ」ことを例会開催のモットーに、「お楽しみ抽選会」や「ひと言どうぞ」、そして例会終了後の「お話タイム」の設定など「楽しめる例会」にする努力をしております。

皆様のご協力をお願いいたします。

(2) 情報委員会

情報委員長の河合です。

今年度一年間よろしく申し上げます。

情報委員会の活動はプロバスだよりの発行を中心とした情報提供と会員情報の発信。もう一つは対外的な広報活動として、ホームページを活用したPR活動があります。

前年度は内山委員長を中心に充実した情報活動が展開され、特にホームページへの情報提供に意を注がれました。本年度はこれらの活動をより充実させるとともに、池田会長の五つの重点事業の一つであります「プロバス活動の足跡を正確に記録し、将来の発展に備える」ことにつき、情報委員会としてホームページの運用を中心に検討し、取り組んでゆきたいと考えます。

プロバス便りをより充実させるためには、会員の皆様からの積極的な情報提供と寄稿が不可欠です。ご協力をお願いして、新年度活動方針の説明を終わります。

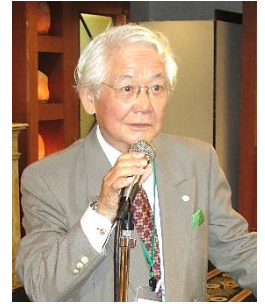
(3) 会員・研修委員会

杉山委員長

本年度会員・研修委員会委員長を務めます杉山です。

さて、新しい会員さんの入会につきましては、先月の年度末例会から泉道夫様に加わって頂きました。そして本日の池田会長年度初例会から大野教子様に加わって頂きました。お二人の人生第四楽章に又一つ新たな彩を添えるプロバス活動であることを願っております。どうぞよろしくお願い致します。

次に、新年度会員・研修委員会と致しましては、



河合委員長



寺山幹事



まず例会卓話でございますが、8月から始めますが、11月24日の全日本プロバス協議会八王子総会を見据えながら、12月例会までは予定が確定しております。順次月を追ってご紹介して参りますのでお楽しみ頂きたいと思っております。

それから、会員・研修委員会が主宰する活動として、本年度はかつて馬場会長年度で実施しましたが、「八王子老年研究会」を再開したいと思っております。本年度のテーマは「認知症」を取り上げる予定です。本日例会後の会員・研修委員会で取りまとめて、8月例会で、参加される会員さんにはご登録を頂いて、9月には第一回研究会を開きたいと考えているところです。

万事はコロナ事情で不確定要素が山積しておりますが、東京八王子プロバスクラブらしい Healthy & Active Aging な一年でありたいと只々祈っております。どうぞよろしくお願い致します。

(4) 地域奉仕委員会

馬場委員長

(1) 地域奉仕委員会の主要業務は以下の通り。

- ① 「(仮称) 小・中学校音楽祭」(2023年3月19日)を計画し、推進する。
- ② 「いちょう祭り」クラブ内を取り纏め、実行する。
- ③ 「健康フェスタ」クラブ内を取り纏め、実行する。
- ④ 「生涯学習サロン」取りやめに関する事後処理を行う。



(2) 「(仮称) 小・中学校音楽祭」の計画及び推進は、概ね下記の通り進める。

- ① 目的と理念の策定(長期継続の可能性を目指す)
- ② 関連する諸機関と密接な連携を行う。
共催団体・協賛企業・後援機関等
- ③ 開催要項を決定する。(正式名称、音楽の内容、出場校選定基準、出場校数、等)
- ④ 出場校決定及び各校との連携・調整を進める。
- ⑤ 開・閉会式と来賓について検討、決定する。
- ⑥ 開催プログラムの作成。
- ⑦ 開催日の業務と分担(共催団体とプロバスクラブ内)を決め、実行する。

(5) 交流担当

一瀬担当理事

「東京八王子2022」については、全日本プロバス協議会会員51クラブに対して第1回目の開催案内を4月28日に発送したことは先月報告いたしました。現時点での参加人員概数の回答を事務局で集計したところ、把握できているところでは大会参加127名、高尾山参加53名で、八王子分を加えれば目標の180名/50名カツカツといったところです。こういう状況ですので当クラブの会員の皆様には是非全員参加をお願いしたいと切に希望いたします。八王子観光コンベンション協会のMICE助成金制度への応募申請をいたしました。20万円ほどの助成が見込めそうです。また懇親会用のお酒類も会場持ち込みで経費節減を考えています。日本酒、焼酎、ワイン、ウイスキーなんでも結構です。こちらも来月以降よろしくお願いいたします。



大会交流会では「わがプロバスクラブ」というテーマで3クラブからのプレゼンを予定していますが、時間の関係上その他のクラブは誌上参加の形をとることとし、その資料のためのアンケート記入用紙を全国各クラブに発送いたしました。

7月16日に北九州にて全日本プロバス協議会常任理事会が久しぶりに対面形式で開催され田中会員が全日本の副会長として出席、一瀬はオブザーバーとして出席いたしました。会議では今週の八王子での総会の議案の審議がメインの議題でありましたが、特に大きな問題もなく、8月の理事会で最終決定することが議決されました。

また「東京八王子2022」の進捗状況について一瀬から報告いたしました。常任理事の皆さんの期待の大きさを強く感じました。

(6) 宇宙の学校

杉田PJ委員

宇宙の学校を担当しています杉田です。下山委員長がお休みですので代理として説明します。宇宙の学校は昨年、一昨年とコロナの影響で実施できませんでした。

今年度はコロナの状況をみながら、募集人員を減らし、実施項目も絞って開催したいと考えています。

9月に開校の予定ですが、7月中に小学校2~3年

生を対象に参加募集のチラシを配布中です。

会場は八王子学園と教育センターを予定していますが、八王子学園ではボランティアとして同校の学生さんの応援が可能ですが、教育センター会場では従来の創価大や薬科大の学生さんの応援が難しい状況にあります。

そこで、プロバス会員の皆様にボランティアとしてお手伝い頂きたく、ご都合を伺う文書をお手元に配布してあります。9月18日、10月16日、11月20日のいずれも日曜日の三日間、教育センター会場です。ご参加いただける方は私の方まで文書にご記入の上、申し込んで下さい。ご協力をよろしくお願いいたします。

9. プロバス賛歌斉唱



10. 閉会

長時間にわたりお疲れ様でした。副会長の持田でございます。一年間よろしくお願いいたします。

第27回定期総会も無事に終わり、会長方針に基づく各委員会の活動方針も示されました。

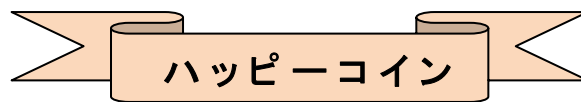
各委員会においても活発な事業展開が期待されます。

本日、大野教子様が入会されました。おめでとうございます。今後のご活躍をご期待申し上げます。

今年度は何といたっても11月に予定されています「東京八王子2022大会」を成功させなければなりません。さらに会の運営面では会員の減少に伴う収支バランスなどの問題点に注力してまいりたいと考えております。以上で閉会といたします。



持田副会長



◆池田年度のスタート！！お目出度うございます。コロナ、コロナの3年間でしたが、今年度は「八王子2022」総会等大きな行事が予定されております。無事2022全国大会総会が開催出来ますように！！

飯田富美子

◆私は4回目のワクチン接種を21日にする予定です。コロナが増加し、副反応が色々と言われていますが、医療にかかわる者として、矢張り4回目の接種をお勧めします。

飯田富美子

◆池田丸の船出を祝して！頑張ってください。この夏は皆さん熱中症とコロナにご注意を。

有泉 裕子

◆池田年度のスタート、みんなの力を合わせて明るく元気な一年を目指そう。

河合 和郎

◆新年度の初例会の本日からお仲間です。大野教子様大歓迎！！皆様どうぞよろしくお願い致します。

杉山 友一

◆第27期新年度のスタートです。コロナに負けずに希望を繋いで、笑顔の日々が続きますように。

杉山 友一

◆池田体制のスタートおめでとうございます。コロナ禍に負けない活動を会員同士の努力で成し遂げましょう。

内山 雅之

◆7月4日のアメリカ合衆国の独立記念日が私の誕生日であります。健康に恵まれて87歳の誕生日を迎えることが出来ました。思えば日本人男性の健康寿命よりも14年も長く延ばしたことになります。キョウヨウ（今日用事がある）とキョウイク（今日行く所がある）のお蔭であります。感謝、感謝。

岩島 寛

◆池田丸の出航を祝して。

野口 浩平

◆新年度・池田丸の航海の無事を祈っています。行く手のコロナの暗雲を神風が吹き飛ばしてくれんことを！！

馬場 征彦

◆11月の「東京八王子2022」への全国のクラブからの参加者の概数が固まりつつあります。目標かすかすという所でもう一段の努力が必要と感じております。

一瀬 明

◆3年ぶりに京都在住の娘の家族と会ってきました。

俳句同好会便り

私の一句〈七月の句会から〉

河合 和郎

またまたコロナの波が大きくなってきた。また日常の行動が制約されるのか。そろそろ特効薬などは開発できないのか。マスクの欠かせない句会が続く。

早梅雨母校現るダムの底 馬場 征彦

四国地方の水源地の渇水が報じられた。ダムの湖底に沈んだ校舎が現れた。懐かしくて悲しい光景。

片蔭を拾ひつ迎る散歩かな 野口 浩平

真夏の日差しの中の散歩は辛いもの。日陰を選んで歩く俳句散歩から生まれた一句。

四十度蚯蚓の干物畔の道 東山 榮

梅雨明けの異常な暑さ。みみずは地熱が上がると地上に逃げ出して干からびてしまう。

放牧のべこ鳴く声や夏の霧 矢島 一雄

夏霧の立ち込める牧場にべこ(牛)の音が響く。親にはぐれた子牛の親を呼ぶ声かもしれない。

白桃やゆたかなる刻賜はりし 池田ときえ

豊穰なる収穫のとき。まさに豊かな季節の到来である。白桃の瑞々しさがポイント。

老いの手や金魚掬ひの薄き紙 田中 信昭

夜店の一景か。どれどれわしにもとお年寄りが金魚すくいに挑戦。紙の網はすぐに破れてしまった。

姉妹はなし転がるさくらんぼ 下山 邦夫

女の兄弟の話はとめどなく続く。「話が転がる」とサクランボの取り合わせが絶妙。

大相撲浴衣姿の彩そえて 飯田富美子

浴衣姿の御最良の姿が升席にちらほら。土俵上の熱戦に色を添える粋な華なのである。

静もりて月は植田を渡りゆく 河合 和郎

田植の終わった田圃には水が満々と張られる。稲の根の養生のため。月影が静かにわたってゆく。

編集後記：連日の猛暑とコロナの感染者急増というニュースの中での編集作業。池田会長のテーマ「プロバスライフを元気に楽しむ」為には、先ずは健康と安全が第一。お互いに無理の効かない年代なのだから。情報・河合

それにしても自由に会えない期間がこれほどになるとはコロナも罪深いですね。

一瀬 明

◆いよいよ池田丸の船出となりました。少々海にはコロナ第7波という波がありそうですが、安全運航に徹して進めたいと思います。「八王子 2022」では八王子プロバスの味も十分是非出していけるよう進めたいです。

持田 律三

◆池田丸の船出を祝って。 戸田 弘文

◆新年度のスタートおめでとうございます。全員が健康に楽しいクラブ活動が出来ます様にと祈念いたします。

立川富美代

◆8月が近づくと、8月5日の誕生日と8月15日の終戦記念日を思い出します。幼少の頃「体が弱くて、この子は育たないだろう」言われてきましたが、90歳になりました。

竹内 賢治

◆第27期がスタートしました。荒海の中ではありますが、無事の航海を期したいと思います。

一瀬 明

◆この16日に北九州で全日本の理事会が予定されており、出掛けてきます。今秋の「八王子 2022」のPRもしてきます。

田中 信昭

◆26期ではお世話になりました。今月より池田号の出航となります。よろしく願いいたします。

山口 三郎



富士山の思い出

富士山山頂から、気象観測ドームが撤去されてから何年になるのでしょうか。現在そのドームの姿は、当時設置されていたものと同一のものが、「道の駅富士吉田」の隣の「富士山レーダードーム館」の屋上にあります。

宇宙科学が進展するなか、現在では富士山レーダードームに替わって気象観測衛星が様々な情報を得て、災害予防に大いに貢献しています。

この富士山の気象観測ドームが建設されたのは1964年と記憶しています。「2度昇る奴はいない」とまで言われている富士山に、1964年7月四回目の富士登山に挑戦しました。当日は快晴。山頂ではヘリコプターによる資材空輸を目撃することが出来ました。大変ラッキーなことで思い出として脳裏に残っております。

(雅)